

4. 実際に植えてみよう

1) 植える時期：落葉期の11月中旬～12月上旬、または2月下旬～3月中旬。但し、厳寒期は避けましょう。

2) 植え方の手順：

- (1) 植える苗木を準備する。※植える前に3時間～ひと晩、根を水に浸しましょう。
- (2) 植え穴を掘る。
- (3) 植え穴の中心に支柱を立てる。(軽く押して倒れるようではいけません) 写真①
- (4) 植え穴に苗木を入れ、土をかける。写真②
- (5) 支柱と苗木を結束する。写真③
- (6) 水鉢を作り、水を入れる。写真④
- (7) 完成。(根元にワラなどを敷くと乾燥防止になります)

※その後の灌水は基本的に必要ありませんが、夏場に乾燥しているときは、1週間おきに夕方、水鉢一杯になるまで水を与えます。



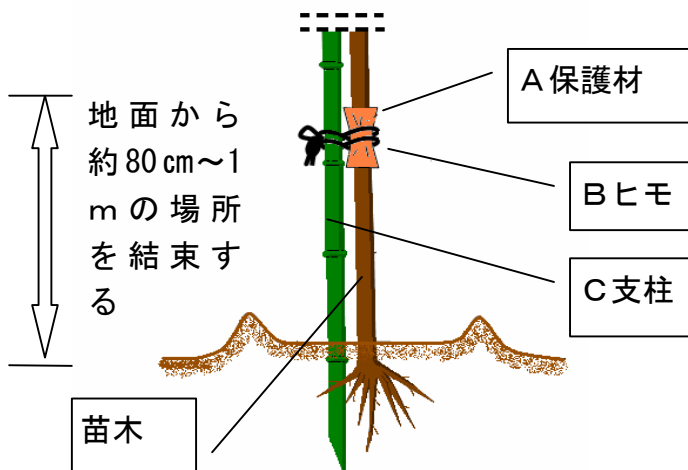
3) 支柱

(1) 支柱を立てる理由：

- ・ 成育を補助する：支柱は、植えたばかりの苗木が強風などでゆすられて倒れてしまったり、せっかく新しく伸びた根を切ってしまうたりしないように、自分自身で支えられるようになるまで成育を補助するものです。
- ・ 樹形をつくる：シダレ性の品種や河津桜など枝が横に広がりやすい品種は、支柱を添えて芯となる枝を誘引すると、短期間で樹形を整えることができます。
- ・ 管理上の目印：植付け時の位置を示したり、夏の草刈り時には支柱が目印となり、誤って苗木を傷つけてしまうことが避けられます。

(2) 方法及び材料：

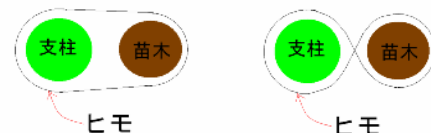
支柱に必要な材料A、B、Cは図の箇所に使用します。



[支柱と苗木の上から見た結束の様子]

①悪い例

②よい例



①の絵の様に結ぶと苗木と支柱がこすれあって苗木が痛んでしまいますので、②の絵の様に結び目の状態を8の字にヒモを結びましょう。